

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中の部

令和三年度十月 入賞句一覧 投句数 千九百五十二句



特選

高木 恵理 選

さつまいもほかほかのまままつてるよ 大垣市 大野 愛斗(小三)

ほかほかのさつまいも。おいしそうなさつまいもとその湯気までもが目に浮かんで
きます。すぐに食べてしまいたいけれど、作者にはもう少し待っている理由がありそ
うです。家族がそろいのを待っているのでしょうか。みんなで食べた方がよりおいし
いでしょ。作者の温かい思いが感じられる俳句です。

ゆうごはんさんまをたべてせすじびん 大垣市 かなか ゆめか(小二)

「さんま」を漢字で書くと、「秋刀魚」です。このように漢字にも使われているよ
うに、刀のようにまつすぐなさんまは、新鮮だと言われています。夕飯に出てきたさ
んまは、新鮮できつと、おいしかったことでしょう。そして、作者も正しい姿勢で、
食事をしていることが素晴らしいですね。おいしい料理を、よい姿勢でいただく。基
本的な生活ができていることが伝わってくる俳句です。

爽やかな風におされてボランテア 大垣市 河本 瑛誠(小六)

どんなボランテアをしているのでしょうか。人のために働くという行為は素晴ら
しいことです。これまでなかなかできなかったことも、爽やかな風が吹いたらやる気
が出てきそうですね。誰かに言われてからやるのではなく、自然な気持ちで取り組ん
でいる様子が「おされて」という言葉から浮かんできます。とてもいい生き方をして
いると思います。

秀逸

まだあけてかん気してると秋の蠅 大垣市 藤志水 琉晴(小六)

秋の蚊は明りがつくと消えている 大垣市 河本 瑛誠(小六)

寒くなりたんすの引きだししまらない 大垣市 安田 奈緒(小四)

どんぐりがころころりんまえまわり 大垣市 かす川 い月(小二)

かたに乗りあいさつにきた赤とんぼ 大垣市 山岸 未歩菜(小四)

栗めしのくりだけ食べて白ごはん 大垣市 清水 ちとせ(小四)

銀やんま追っても追ってもにげていく 大垣市 北村 樹(小四)

青空の下で始まる運動会 大垣市 白澤 奈央(小六)

お月さま雲でどんだんきえていく 大垣市 いとう りいか(小二)

すずむしがねはねをひろげてうたってる 大垣市 神谷 凜(小三)

入選

紅葉がきれいに見える祖母の家

加茂郡川辺町

村田 果杏（中二）

目がさめたまつかにもえるひがんばな

大垣市

丸野 優牙（小二）

金木せいほんのりかおる登校時

大垣市

坂 祐奈（小六）

あみの上焼かれておどる秋刀魚たち

大垣市

清水 敦生（小六）

ていぼうにならんでうたう曼珠沙華

大垣市

大塚 彩友美（小六）

くり飯はくりが何こか数えちやう

大垣市

松岡 大治（小六）

くりごはんいつぱいたべておかわりだ

大垣市

子安 明香（小二）

まんげつだうさぎいるかなじつとみる

大垣市

ふせ じゅん（小二）

ながればしあすはいいことおこりそう

大垣市

みやもり かなた（小三）

みの虫がゆりかご乗ってゆれている

大垣市

渡辺 美空（小三）

つくつたよ家族みんなでくりきんとん

大垣市

渡辺 瑠海（小三）

もみじの葉かぜにゆられてまいあがる

大垣市

田中 さき（小三）

草ぬきでコスモスだけはのこしたよ

大垣市

北村 樹（小四）

糸瓜の実中から種がでてきたよ

大垣市

有尾 優輝（小五）

よるのまちコオロギたちがうたつてる

大垣市

日比 椋鈴（小五）

風きつて速く走るよ運動会

大垣市

オイデ マサヒロ（小五）

また一つカボチャが増える家の中

大垣市

渡辺 一成（小六）

さつまいもだいがくいもにしてみましたよ

大垣市

安田 ひな（小二）

むしのこえどこにいるんだかくれおに

大垣市

藤枝 桜河（小三）

いわし雲みんなの気持ち晴れていく

大垣市

田中 明沙（小六）

選者吟

立秋や絵の具の白を買ひ足して

恵理



小中の部